

## No.09-134 「配管減肉管理改善に向けた基盤技術研究に関する特別講演会」

(P-SCCII-2 「配管減肉管理改善に向けた基盤技術研究分科会」 成果報告会)

[動力エネルギーシステム部門(幹事部門)、材料力学部門、流体工学部門、機械力学・計測制御部門 合同企画]

**開催日時** 2009年12月15日(火) 13.20~17.30

**会場** (社)日本機械学会会議室(東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階)

<http://www.jsme.or.jp/gakka5.htm>

### 趣 旨

発電プラントで発生する配管の減肉現象は、腐食現象が乱流物質移動により助長する流れ加速型腐食(FAC)、高速蒸気流中の液滴によるエロージョンなど、材料、水化学、流動に関わる複合的検討が必要である。また、その管理のためには肉厚の管理箇所、測定時期の選定、肉厚測定の実施、測定結果の評価、補修など総合的な管理が必要である。

これまで日本機械学会では、日本機械学会・標準規格センター・発電用設備規格委員会で配管減肉管理のための規格を制定するとともに、本規格を改訂・充実させるための R&D 実施に向けた技術戦略マップをとりまとめ、現在各機関で規格改定に向けた様々な R&D が行われている。

この背景の元、配管減肉管理規格の改定・充実化のみならず管理全般の改善に寄与するため、国内外における最新の関連 R&D 情報を調査検討することを目的とした「配管減肉管理改善に向けた基盤技術研究分科会」(主査: 神奈川工大西口磯春教授)を2008年4月より2カ年の計画で設置した。日本機械学会の総合力を活用し、動力エネルギーシステム部門が幹事部門となり、流体工学部門、材料力学部門、機械力学・計測制御部門と協力する部門横断型の部門協議会直属の分科会とし、横断分野の研究者・技術者が協力して包括的な調査活動を行ってきた。今般分科会の調査結果がまとまったため、本特別講演会においてその報告をしたい。

### プログラム

司会 稲田文夫(電力中央研究所)

13.20-13.50 全体活動概要 西口磯春(神奈川工科大学)

13.50-14.35 流れ加速型腐食の研究の現状 大平 拓(日本原子力発電)

14.35-15.20 液滴衝撃エロージョンの研究の現状 森田 良(電力中央研究所)

休憩

司会 久宗健志(日本原子力発電)

15.40-16.25 配管減肉検査モニタリング技術開発の現状 内一哲哉(東北大学)

16.25-17.10 減肉強度評価/判断基準研究の現状 町田秀夫(テプコシステムズ)

17.10-17.30 規格改定・充実化にむけた研究開発ロードマップの改定案 稲田文夫(電力中央研究所)

**参加費** (当日会場にて申し受けます)

[当日配布資料代込]

会員 8 000 円(学生会員 2 000 円)

会員外 12 000 円(一般学生 4 000 円)

定員 60名 (定員になり次第締め切ります)

### 申込方法

E-mail または FAX にて、「No.09-134 特別講演会 参加申込」と記して、(1) 氏名、(2) 会員資格、本会会員の方は会員番号 (3) 連絡先(〒・住所・所属・電話・E-mail) を明記の上、下記担当職員宛事前にお申込み下さい。参加費は当日会場において現金にて申し受けます。

日本機械学会 動力エネルギーシステム部門担当職員 川崎さおり

E-mail : [kawasaki@jsme.or.jp](mailto:kawasaki@jsme.or.jp) / FAX (03) 5360-3508 / 電話 (03) 5360-3502

### 内容に関する問合せ先

(財)電力中央研究所/稲田文夫

E-mail : [inada@criepi.denken.or.jp](mailto:inada@criepi.denken.or.jp) / 電話 (03) 3480-2111(内線 1611)